

令和年度 学校法人昭和大学 決算の概要

令和元年度 学校法人昭和大学の決算は、令和2年5月19日の理事会で承認頂き、同月29日の評議員会に報告しました。令和元年度の主な事業は以下の通りです。創立90周年記念事業の集大成として上條記念館が竣工し、11月10日に創立90周年記念式典・祝賀会を挙

令和元年度 資金収支計算書 (単位:円)
収入の部: 学生生徒等納付金収入 9,355,950,000
支出の部: 人件費支出 51,065,647,519
収入の部合計: 163,266,920,202
支出の部合計: 163,266,920,202

令和元年度 事業活動収支計算書 (単位:円)
事業活動収入の部: 学生生徒等納付金 9,355,950,000
事業活動支出の部: 人件費 51,461,858,593
事業活動収支差額: 5,000,717,911

貸借対照表 令和2年3月31日現在 (単位:円)
資産の部: 固定資産 174,074,738,809
負債の部: 固定負債 31,350,688,937
純資産の部: 基本金 280,312,169,295

動に対応する、資金の動きを伴う全ての収入支出の内訳を示しております。当年度の資金収入は前年度繰越支度資金を除いた1,272億5,055万円、資金支出は1,354億9,225万円で、支払資金が82億8,720万円の減少となりました。この減少は、整備計画につきましても、横浜市、東急株式会社および本学の三者で新たなまちづくりに取り組みするために、再整備基本計画の検討を進めるとともに、地域の方々が参加するワークショップを開催しました。外部資金の獲得としては、私立大学等経費補助金の交付額が前年度から一つ順位が上がり全国6位でした。教育、研究、診療の更なる発展に向けた今後の施設設備投資に備え、富士吉田校舎施設整備引当特定資産、藤が丘病院再整備引当特定資産、旗の台キャンパスCサイト整備引当特定資産を新設し、合わせて135億円の積立を行いました。各附属病院の活性化対策として、大学病院にリニアック棟を建設し、放射線治療装置(トモセラピー)装置の稼働を開始しました。北都病院では電子カルテシステムの更新を行いました。藤が丘病院・藤が丘リハビリテーション病院との三病院で電子カルテシステムが統合されたことにより運用の統一やデータの集約が可能となりました。

占める、薬品費・医療材料費・給食材料費・医療委託費からなる「直接医療経費」は医療収入の34.6%でした。管理経費支出は4億5,662万円の減で執行率は89.7%となりました。また、土地、建物等の施設関係支出は予算に比べて16億3,106万円の減で執行率は74.6%、教育研究用機器備品、図書などの設備関係支出は5億9,697万円の減で執行率は88.0%となりました。これら以外の科目では借入金等返済支出、資産運用支出等があります。事業活動収支は企業会計の損益計算に近いもので収支均衡状態を測定し、経営状況を明らかにするものです。諸活動の収入を合算した事業活動収入の合計は1,272億5,055万円、支出の合計は1,354億9,225万円、収支差額は5,000,717,911円です。基本金組入前当年度収支差額は5,430,279,986円、基本金組入額合計は10,035,741,449円、当年度収支差額は4,605,461,463円、前年度繰越収支差額は103,761,560,352円、翌年度繰越収支差額は108,367,021,815円です。

支差額では、54億3,027万円の収入超過、黒字となり、予算より26億2,516万円の増加となりました。科目ごとの金額は資金収支と重複しますが、主要科目の構成割合を示します。学生生徒等納付金は7.7%、経常費等補助金は5.2%、医療収入は82.2%となり、令和2年3月31日現在の財産状況を示しております。固定資産(土地・建物・機器備品・特定資産他)と流動資産(現金預金・未収入金他)の資産の部合計は2,193億3,710万円で、前年度末と比べて53億8,063万円の増加となりました。主な変動要因として、建物が55億3,338万円の増、教育研究用機器備品が7億3,560万円の減、建設仮勘定が上條記念館の竣工に伴い46億9,130万円の減、第3号基本金引当特定資産が3億544万円の増、上條記念館建設引当特定資産が18億1,385万円の減、減価償却引当特定資産は電子カルテ等引当特定資産へ名称変更し4億9,000万円の増、校地拡充引当特定資産が8億6,225万円の増、施設設備引当特定資産が10億円の減、今年度新設した富士吉田校舎施設整備引当特定資産と旗の台キャンパスCサイト整備引当特定資産の増が、前年度より54億3,027万円の収入超過となり、予算より26億2,516万円の増加となりました。科目ごとの金額は資金収支と重複しますが、主要科目の構成割合を示します。学生生徒等納付金は7.7%、経常費等補助金は5.2%、医療収入は82.2%となり、令和2年3月31日現在の財産状況を示しております。固定資産(土地・建物・機器備品・特定資産他)と流動資産(現金預金・未収入金他)の資産の部合計は2,193億3,710万円で、前年度末と比べて53億8,063万円の増加となりました。主な変動要因として、建物が55億3,338万円の増、教育研究用機器備品が7億3,560万円の減、建設仮勘定が上條記念館の竣工に伴い46億9,130万円の減、第3号基本金引当特定資産が3億544万円の増、上條記念館建設引当特定資産が18億1,385万円の減、減価償却引当特定資産は電子カルテ等引当特定資産へ名称変更し4億9,000万円の増、校地拡充引当特定資産が8億6,225万円の増、施設設備引当特定資産が10億円の減、今年度新設した富士吉田校舎施設整備引当特定資産と旗の台キャンパスCサイト整備引当特定資産の増が、前年度より54億3,027万円の収入超過となり、予算より26億2,516万円の増加となりました。

医学堂書店 品川区 旗の台 電話(03) 3783-9774

昭和大学 富士吉田の天然水 各種グッズも取り扱っております 創設90周年記念の手帳、昭和大学オリジナルフリン、ポロシャツなど販売中! 昭友商事株式会社 03-3784-8280 http://www.shoyu-trading.com/

あなたの人生に、「かかりつけ」の安心を。 日本調剤

4万円で、前年度より54億3,027万円増加となりました。 \*本学は財務情報の公開の一端として、当法人の「利害関係者に財務諸表等の閲覧を行います。また、昭和大学 財務担当理事 中村明弘